

令和元年5月川口市議会臨時会

市長挨拶

令和元年5月17日

本日、5月市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

皆様におかれましては、熾烈を極めたこの度の市議会議員選挙を勝ち抜かれ、見事にご当選されましたことに、改めまして心からお祝いを申し上げます次第であります。

さて、本市は、昨年4月に中核市に移行し、埼玉県から移譲された福祉、保健衛生、環境分野など、様々な事務事業を着実に進めているところであります。

特に、新たに設置した市保健所では、昨年の風しんやインフルエンザ等の感染症の流行期には、市ホームページや川口駅前のキャストビジョン等を活用し、市民の皆さんに迅速、かつ的確に情報提供を行ない、拡大防止に努めたほか、国に先立ち、本市では、風しん予防接種助成制度を創設するなど、独自の取り組みを早急に実施したところであります。

また、市保健所になってからは、医療に関する市民の相談が年間500件を超え、県保健所時代の3倍となり、より身近な施設として市民の皆さんに利用されております。

さらに、市民の食の安全を守るため、「川口市食品衛生監視指導計画」を策定し、夏期と冬期の食中毒が多発する時期に合わせ、予防の一斉キャンペーンを実施するとともに、県保健所時代の1.5倍となる年間1,600件を超える飲食店等の監視指導を実施したところであります。私も自ら昨年の7月に西川口駅西口で実施した一斉キャンペーンに同行し、外国語で作成したチラシを用いながら、食中毒予防のほか、事業系ごみの適正な処理や調理場から出る排水に含まれる油の適正な処理などの注意喚起に努めたところであります。

このほか、町会・自治会などで人気の行事である餅つきについて、食中毒等のリスク回避のため守ってほしい事柄をわかりやすくまとめたリーフレットを作成し、安全で楽しい餅つきができるよう周知啓発を行なったところでもあります。

今後とも、地域の実情に合わせたきめ細やかな行政サービスや指導などを実施し、市民の皆さんの健康と暮らしの安全・安心をさらに高め、今まで以上に住みやすく便利になったと実感していただけるまちづくりに努めて参る所存であります。

続きまして、今年度の当初予算についてであります。

去る3月市議会定例会におきまして、一般会計では、市制施行以来初めてとなる2,000億円を超える予算とし、全会計を合わせ3,982億8,057万1,000円となる当初予算を、ご議決賜ったところでもあります。

今年度におきましては、3大プロジェクトのさらなる推進、多文化共生の推進、(仮称)子ども発達相談支援センターの設立準備、大幅に増額した小・中学校の施設整備・補修工事、小学校等への防犯カメラの設置、都市基盤整備の推進のための予算など、本市が「さらなる選ばれるまち」を目指すための積極的な予算といたし、スピード感を持って市政運営に取り組んで参る所存であります。

それでは、市政に関し数点述べさせていただきたいと存じます。

第1点は、「プレミアム付商品券事業」についてであります。

本年10月の消費税率の改定に伴い、政府では、所得の低い方や子育て世帯への負担の緩和を図るとともに、地域経済に影響を及ぼさないよう消費を喚起し下

支えすることを目的に、市区町村を主体としたプレミアム付商品券事業を実施するところであります。

私は、当該事業が市民の負担を軽減するとともに、市内経済の活性化につながるものと考え、本市においても実施することとし、必要な予算を専決処分いたしておりますので、議員の皆様のご承認を賜りますようお願い申し上げます。実施にあたっては、関係団体等と調整し、これまでの本市独自の商品券事業のノウハウを活かしながら、消費税率が改定される10月から商品券が使用できるよう準備を進めて参りたいと存じます。

第2点は、自然環境対策についてであります。

私たちの生活は、様々な経済活動などにより豊かで便利なものとなりましたが、一方で、こうした影響などを受け、生物の生態系は、地球温暖化や外来種の侵入、マイクロプラスチック等による海洋汚染など様々な課題に直面しております。

私は、このような事態を憂慮するとともに、本市においても自然環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進する必要があると強く感じ、この4月に自然保護対策を専門に行なう自然保護対策室を設置したところであります。

当該部署の設置により、市内動植物の生態系調査を行ない、地域の環境条件に応じた生物多様性の保全を推進し、本市のかけがえのない自然環境を守り、育て、そのもたらす恩恵を未来の子どもたちに引き継いで参りたいと存じます。

また、プラスチックごみ削減に向けた対策を早急に進める必要があると考え、今年度から市のイベント等で提供するプラスチック製うちわを、竹製などに切り替えることをはじめ、啓発用品等でプラスチック製品の使用を極力抑制するなど、身近なところから自然環境に配慮したまちづくりを進めて参る所存であります。

第3点は、上下水道局の設置についてであります。

上下水道は、市民生活や産業活動等に欠かせない重要なインフラであります。施設の老朽化などが全国的な課題となっております。

本市の水道事業は、これまで運営基盤の強化、快適な給水の確保、災害対策の充実等に取り組み、市民の皆さんが、安全・安心な水道水を24時間いつでもご利用いただける環境を整えて参りました。

しかしながら、水道施設の老朽化の進行、災害対策・危機管理など、様々な課題に直面しているほか、今後は、人口の減少、節水機器の普及や生活様式の変化等による給水収益の減少が見込まれるなど、経営状況は厳しくなるものと予測されるところであります。

一方、本市の下水道事業におきましても、これまで積極的な整備に努めてきた結果、下水道処理人口普及率は87%を超えておりますものの、下水道整備が進んでいない地域への整備や、老朽化した設備の更新など、多くの財源を必要とする課題への対応が求められている状況にあります。

こうしたことから、まずは下水道事業における経営の健全化と効率化を推進し、持続的な事業運営を図るべく、本年4月1日に下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用するとともに、水道局と組織統合し、新たに上下水道局を設置したところであります。

今後も、安全でおいしい水を供給するとともに、下水を適正に処理することで、市民の皆さんに安心して上下水道をご利用いただけるよう、取り組んで参る所存であります。

さて、今回提案いたしました議案は、一般議案において、「平成30年度川口市一般会計補正予算」など、専決処分の承認議案6件、人事議案2件であります。

提案理由につきましては、後ほど説明申し上げますので、慎重にご審議を賜り、何とぞご可決くださいますようお願いを申し上げます次第であります。

結びに、議員の皆様におかれましては、今後とも、本市行政に対しまして、格段のご指導・ご協力・ご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げまして、市議会臨時会の開会のあいさつとさせていただきます。